

# チルド加工用バレイショ品種「とうや」、「ホッカイコガネ」の最適な生育日数

多収・高でん粉で塊茎腐敗および内部異常の少ない最適な生育日数は、「とうや」が100日、「ホッカイコガネ」が110日

## 背景・目的

- ・チルド加工用バレイショは、主に出水地域および肝属地域において約80haで契約栽培
- ・主に利用されている品種は、早生の「とうや」および中晩生の「ホッカイコガネ」
- ・「とうや」は内部異常・塊茎腐敗が発生しやすいこと、「ホッカイコガネ」は内部異常の発生は少ないものの、塊茎腐敗の発生が多いことが課題

## 成果の内容

- ・「とうや」(早生品種)  
生育日数100～120日において、上いも収量は同じ  
でん粉価は100日が高い  
塊茎腐敗・内部異常症は生育日数が長いほど多い
- ・「ホッカイコガネ」(中晩生品種)  
生育日数100～120日において、上いも収量は同じ  
でん粉価110日高い、塊茎腐敗は生育日数が長いほど多い

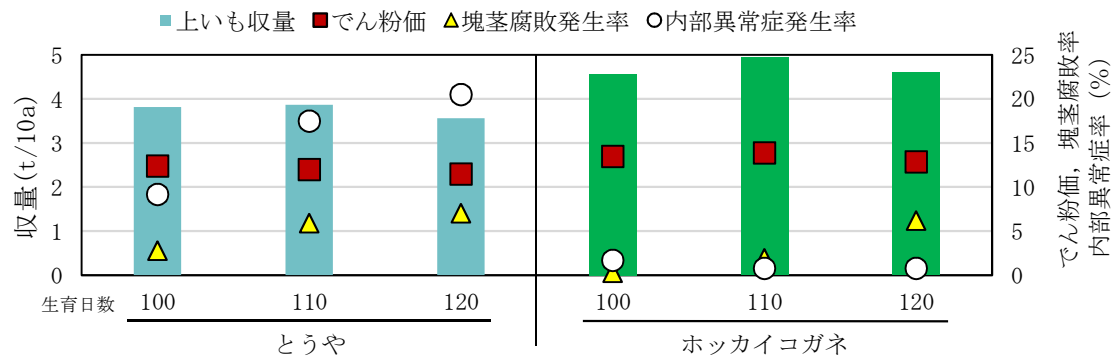


図 品種別の生育日数の違いが上いも収量、でん粉価、塊茎腐敗、内部異常症に及ぼす影響

## 期待される効果

- 適正な生育日数によって高品質生産  
塊茎腐敗、内部異常症の低減



塊茎腐敗



内部異常症(「とうや」)

- 生育日数および品種の組み合わせによる収穫労力の分散
- 普及対象・範囲  
チルド加工用バレイショ契約農家

鹿児島県農業開発総合センター  
大隅支場園芸作物研究室

(民間委託)